

文教警察企業常任委員会資料

令和元年 6 月 1 9 日

企 業 局

目 次

I 令和元年 6 月定例県議会提出報告書関係

- 平成30年度宮崎県公営企業会計（電気事業）予算繰越計算書 1 ページ
【令和元年 6 月定例県議会提出報告書 別紙 5】
- 平成30年度宮崎県公営企業会計（電気事業）継続費繰越計算書 . . . 2 ページ
【令和元年 6 月定例県議会提出報告書 別紙 6】
- 平成30年度宮崎県公営企業会計（工業用水道事業）継続費繰越計算書 3 ページ
【令和元年 6 月定例県議会提出報告書 別紙 7】

II その他報告事項

- 新たな宮崎県企業局経営ビジョンの策定について 4 ページ
- 企業局施設見学ツアーについて 6 ページ

(別紙5)

平成30年度宮崎県公営企業会計（電気事業）予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

(単位:円)

款	項	事業名	予算計上額	支払義務 発生額	翌年度 繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に 係る繰越を要す るたな即資産の 購入限度額	明 説
						補助金	企業債	損益勘定 留保資金			
資本的 支出	建設改良費	ダム施設整備 事業	436,440,000	17,294,741	226,573,752	0	0	226,573,752	192,571,507	0	事業主体において事業が繰越 しとなることによるもの。
	計	1件	436,440,000	17,294,741	226,573,752	0	0	226,573,752	192,571,507	0	

地方公営企業法第26条第2項ただし書の規定による営業費用の事故繰越額

(単位:円)

款	項	事業名	予算計上額	支払義務 発生額	翌年度 繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に 係る繰越を要す るたな即資産の 購入限度額	明 説
						補助金	企業債	自己資金			
事業費	営業費用	渡川発電所水 庄鉄管塗装工 事	52,454,000	0	47,211,866	0	0	47,211,866	5,242,134	0	仮設工の工法変更に伴い、工 程に遅れが生じたことによる もの。
	計	1件	52,454,000	0	47,211,866	0	0	47,211,866	5,242,134	0	

(別紙6)

平成30年度宮崎県公営企業会計（電気事業）継続費繰越計算書

(単位:円)

款	項	事業名	継続費の 総 額	平成30年度継続費予算現額			支払義務 発生 額	残 額	翌年度繰越 繰 越 額	翌年度繰越繰越額に係る財源内訳			翌年度繰越繰越額 に係る繰越たな資産 の購入限度額
				予算計上額	前年度繰越 繰 越 額	計				補助金	建設改良 積 立 金	損益勘定 留保資金	
資本的支出	建設改良費	渡川発電所 発電設備一 括更新工事	3,035,640,000	154,440,000	57,040,000	211,480,000	68,665,543	142,814,457	142,814,457	0	0	142,814,457	0
	建設改良費	上祝子発電 所自動制御 装置更新工 事	73,549,000	6,534,000	0	6,534,000	0	6,534,000	6,534,000	0	0	6,534,000	0
計		2件	3,109,189,000	160,974,000	57,040,000	218,014,000	68,665,543	149,348,457	149,348,457	0	0	149,348,457	0

(別紙 7)

平成30年度宮崎県公営企業会計（工業用水道事業）継続費繰越計算書

(単位:円)

款	項	事業名	継続費の 総 額	平成30年度継続費予算現額			支払義務 発 生 額	残 額	翌年度繰越 繰 越 額	翌年度繰越繰越額に係る財源内訳			翌年度繰越繰越 額に係る繰越を 要するたな卸資 産の購入限度額
				予算計上額	前年度繰越 繰 越 額	計				補助金	企業債	自己資金	
事業費	営業費用	工業用水道 施設高速凝 集沈殿池設 備更新工事	30,240,000	7,560,000	0	7,560,000	0	7,560,000	7,560,000	0	0	7,560,000	0
	計	1 件	30,240,000	7,560,000	0	7,560,000	0	7,560,000	7,560,000	0	0	7,560,000	0

款	項	事業名	継続費の 総 額	平成30年度継続費予算現額			支払義務 発生 額	残 額	翌年度繰越 繰 越 額	翌年度繰越繰越額に係る財源内訳			翌年度繰越繰越を 要するたな卸資 産の購入限度額
				予算計上額	前年度繰越 繰 越 額	計				補助金	建設改良 積 立 金	損益勘定 留保資金	
資本的支出	建設改良費	工業用水道 施設高速凝 集沈殿池設 備更新工事	710,640,000	179,421,000	0	179,421,000	0	179,421,000	179,421,000	0	0	179,421,000	0
				179,421,000	0	179,421,000	0	179,421,000	179,421,000	0	0	179,421,000	0
	計	1 件	710,640,000	179,421,000	0	179,421,000	0	179,421,000	179,421,000	0	0	179,421,000	0

Ⅱ その他報告事項

新たな宮崎県企業局経営ビジョンの策定について

企業局総務課

1 策定の理由

企業局では、平成27年3月に策定した「宮崎県企業局経営ビジョン」に基づき、計画的、効率的に事業を進めているところであるが、今年度末で策定から5年が経過することから、次期計画を新たに策定するものである。

2 次期経営ビジョンの概要等

電力システム改革に伴う発電及び小売の全面自由化等により、企業局を取り巻く環境は大きく変化しており、これに的確に対応するとともに、運転開始から60年を経過する発電所等の大規模な更新を計画的に実施していく必要がある。

また、総務省からは、より長期間の収支見通しに基づいた経営戦略を策定するよう要請されている。

これらを踏まえ、中長期的な視点に立ちながら、計画的に経営基盤の強化に取り組むとともに、効率性、透明性の高い経営のため、今後10年間の計画を新たに策定するものである。

(1) 計画期間

令和2年度～令和11年度（10年間）

(2) 主な内容

- ・ 経営の現状と課題
- ・ 将来の事業環境
- ・ 経営の基本方針
- ・ 投資・財政計画（収支計画）

3 今後のスケジュール（案）

令和元年	6月～11月	経営ビジョン素案の作成
	12月	常任委員会に報告（経営ビジョン素案）
	12月～2月	経営ビジョン案の作成
令和2年	3月	常任委員会に報告（経営ビジョン案）
		経営ビジョン策定

現行 経営ビジョンの概要

【計画期間：平成27年度～36年度】

【基本姿勢】

- 共 通・・・・・・・・健全経営のもとで県民福祉の増進を図る。
- 電気事業・・・・・・・・本県の豊かな水資源を生かした水力発電の取組を通して地域に貢献する。
- 工業用水道事業・・・・細島工業団地に工業用水を安定的に低廉な料金で供給することにより産業振興の一翼を担う。
- 地域振興事業・・・・河川敷を利用したゴルフ場として県民の健康づくり・生きがいつくりと地域の振興に寄与する。

【課題】

<電気事業>

- 電力システム改革への対応
- 設備の更新
- 低炭素社会へ向けた発電への取組
- 地域貢献のあり方

<工業用水道事業>

- 設備の健全維持
- 受水企業からの要望への対応
- 借入金の早期返済
- 資本の充実

<地域振興事業>

- 利用者数の拡大
- 健全経営の維持
- 資本の充実



経営の基本戦略と投資計画

<各事業共通>

- 計画的経営と効率的経営の推進
- 財務基盤の充実
- 地域貢献の推進
- 時代の変化に対応できる人材の育成
- 自然災害への的確な対応
- 県民へのPR

<電気事業>

- 電力システム改革への的確な対応
- 施設・設備の適正な維持管理
- 再生可能エネルギーの開発・導入
- 地域貢献の充実

<工業用水道事業>

- 施設・設備の適正な維持管理
- 借入金の返済による財務基盤の強化
- 料金制度の検討

<地域振興事業>

- 利用しやすいゴルフ場づくり
- 施設・設備の適正な維持管理
- 借入金の返済による財務基盤の強化
- 環境への配慮等

企業局施設見学ツアーについて

企業局工務課

1 発電所

(1) 目的

地元小学生を対象に、発電時に二酸化炭素を発生しない水力発電の仕組みや、ダム役割等についての教育や啓発を行う。

(2) 内容

①発電所見学

②水車模型による水力発電のしくみの説明



発電所内の見学



水車模型での体験学習

(3) 昨年度の実績と今年度の取組（予定）

年 度	月 日	発電所名	参 加 者	合計
平成 30年度	5月11日	綾第二	綾町立綾小学校 4年生 81名	186名
	5月24日	石河内第一	木城町立木城小学校 4年生 44名	
	11月16日	岩瀬川	都城市立高崎小学校他3校 4年生 61名	
令和 元年度	5月 9日	綾第二	綾町立綾小学校 4年生 90名	482名
	5月17日	綾第二	国富町立森永小学校 4年生 37名	
	5月24日	三財	西都市立銀上小学校 3～6年生 7名	
	5月30日	岩瀬川	西都市立妻南小学校 4年生 86名	
	5月31日	三財	西都市立三財小中学校 3・4年生 42名	
	(7月10日)	祝子	延岡市立方財小学校 全学年 40名	
	(10月24日)	三財	西都市立妻北小学校 4年生 100名	
	(10月25日)	石河内第一	西都市立茶臼原小学校 4年生 40名	
	(2月 8日)	祝子	延岡市立北方学園小学校 4年生 40名	

(4) 効果

水力発電のしくみや企業局の事業について、理解を深めてもらうとともに、環境に関する意識の啓発にもつながる。

2 総合制御室

(1) 目的

広報戦略室と連携した県庁見学や社会科教育の一環として、小学生等を対象に、24時間三交替勤務で発電等を集中監視制御している総合制御室の施設見学やクイズを通して、エネルギーの種類や役割等について啓発を行う。

(2) 内容

①企業局の3事業（電気、工業用水、地域振興）の概要説明

②総合制御室の見学、エネルギークイズ



総合制御室の見学



エネルギークイズ

(3) 昨年度の実績と今年度の取組（予定）

年度	月 日	参 加 者			合計
平成 30年度	5月18日	宮崎市立櫛北小学校	4年生	96名	637名
	5月25日	川南町立東小学校	3・4年生	37名	
	10月11日	新富町立富田小学校	4年生	93名	
	10月12日	都城市立安久小学校	5年生	54名	
	11月 1日	宮崎市立木花小学校	4年生	33名	
	11月 2日	川南町立通山小学校	4年生	33名	
	11月 7日	宮崎市立広瀬小学校	4年生	102名	
	11月22日	新富町立新田小学校	4年生	29名	
	11月22日	宮崎市立西池小学校	4年生	160名	
令和 元年度	5月16日	宮崎市立田野小学校	6年生	104名	369名
	5月23日	宮崎市立港小学校	4年生	72名	
	5月23日	宮崎市立国富小学校	4年生	119名	
	5月24日	都城市立山之口小学校	4年生	33名	
	(7月26日)	宮崎市内小学校ほか	6年生	41名	

(4) 効果

企業局の事業について、理解を深めてもらうとともに、エネルギーについての関心が高まる。

3 工業用水道施設

(1) 目的

地元小学生を対象に、細島工業団地の企業へ給水を行っている工業用水道の役割や仕組み等についての教育や啓発を行う。

(2) 内容

- ①浄水場、配水池見学
- ②細島工業団地内工場見学



浄水場の見学



配水池の見学

(3) 昨年度の実績と今年度の取組（予定）

年 度	月 日	施設名	参 加 者
平成 30年度	11月30日	・ 工業用水道施設 ・ (株) 日向製錬所	日向市立日知屋東小学校 4年生 110名
令和 元年度	(11月12日)	・ 工業用水道施設 ・ 細島工業団地内工場	日向市立平岩小中学校小学部 4年生 31名

(4) 効果

工業用水道の役割について理解を深めてもらうとともに、工場で働く人から地元企業の話聞くことにより、社会への関心が深められる。